

2026年度 一般選抜

日本史

〈全学部全学科共通問題〉

1月31日実施 A日程

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の冊子を開かないください。
2. 本冊子には、13ページの問題文があります。
3. 解答用紙は、すべてマーク・シートになっています。
4. 監督者の指示で、受験番号欄に受験票に記載されている受験番号（数字6桁）を縦に記入し、それぞれ右のマーク欄にマークしてください。受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。氏名欄に氏名も忘れず記入してください。
5. 解答科目欄には、解答する科目を1つ選び、マークしてください。
6. 解答は、設問の箇所に指示されている解答番号の解答欄にマークしてください。例えば、

20

と指示されている設問に対して、③と解答する場合は、次の例のように解答番号20の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄									
20	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 解答番号は

1

 ~

50

 です。
8. マークは、硬度HB以上の鉛筆を使用し、訂正する場合は消しゴムでいいいに消し、消しくずを残さないように注意してください。
9. 解答時間は、60分です。

問題 I

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

7世紀半ば、唐からの圧迫の中で、周辺諸国は中央集権の確立と国内統一の必要にせまられた。日本では、蘇我氏が権力集中をはかっていたが、(A)は蘇我倉山田石川麻呂や中臣鎌足の協力を得て、645 (大化元) 年に蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、^aさまざまな政治改革を行って、^b天皇を中心とした中央集権国家建設を目指した。

鎌足は臨終の際に天皇から「藤原」の名を賜り、また、子の不比等がそれを継いで、藤原氏が誕生した。

藤原不比等は娘の宮子を文武天皇に嫁がせ、さらに娘の光明子を皇太子時代の(B)に嫁がせて、天皇家と密接な関係を結び、藤原氏繁栄の基礎を築いた。また、不比等は大宝律令や養老律令の制定にも大きな役割を果たした。^c

不比等の子である武智麻呂・房前・宇合・麻呂の四兄弟は、(C)年に当時左大臣の地位にあった長屋王を失脚させ、光明子を皇后に立てた。しかし、まもなく流行した疫病により、四兄弟は相ついで病死した。彼らは南家・北家・式家・京家の祖となり、それぞれの家からは有力な人物が輩出した。たとえば、孝謙天皇の時代に光明皇太后と結んで勢力をのぼした(D)は、南家の武智麻呂の子であった。また、北家の藤原永手や式家の藤原百川は、称徳天皇^dが亡くなったあと、光仁天皇擁立に尽力した。

嵯峨天皇の時代には、平城太上天皇と嵯峨天皇の間で対立がおこったが、その際に、天皇の秘書官長としての(E)の職が設けられた。北家の藤原冬嗣はそれに任じられ、北家が勢力をのぼすきっかけとなった。冬嗣は娘の順子を皇太子時代の仁明天皇に嫁がせ、天皇家と姻戚関係を結んだ。

冬嗣の子の藤原良房は、外孫の清和天皇が即位すると摂政の職務を行った。良房のあとを継いだ(F)は、甥にあたる陽成天皇を譲位させ、光孝天皇を即

位させて、自身は関白の立場についた。次の宇多天皇の即位の際には、阿衡に任^eじるとい
う勅書の文言に対し、(F) は政務をみないという形で抗議し、勅書
を撤回させるという事件がおこったが、これにより関白の政治的地位^fが確立した。

藤原氏はいくつかの政争^gにより他氏を退け、また、藤原氏内では天皇との外戚
関係を築いた北家が他家を圧倒して、摂政・関白の職には代々北家の人物が任じ
られるようになった。摂政・関白が政権の最高の地位にあった時期の政治を摂関
政治と呼ぶが、10世紀末から11世紀中頃の藤原道長・頼通の時代^hに全盛期を
迎えた。その後、摂関家は摂政・関白に任じられる家として長く存続するが、天
皇との外戚関係の構築に苦勞して勢力は衰えていき、国政主導の立場はやがて天
皇の父系直系尊属である院に移っていった。

1 空欄 (A) に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、
番号で答えなさい。

- ① 大海人皇子 ② 中大兄皇子 ③ 厩戸王 ④ 山背大兄王

2 下線部 a の事件の名称として最も適切な語句を次の①～④の中から一つ
選び、番号で答えなさい。

- ① 壬午事変 ② 壬申の乱 ③ 辛亥革命 ④ 乙巳の変

3 下線部 b にあてはまらないものを次の①～④の中から一つ選び、番号
で答えなさい。

- ① 田荘・部曲の新設 ② 中央官制の整備
③ 地方行政組織の「評」の設置 ④ 全国的な人民・田地の調査

4 空欄 (B) に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、
番号で答えなさい。

- ① 神武天皇 ② 桓武天皇 ③ 聖武天皇 ④ 天武天皇

5 下線部 c に関連する説明として誤っているものを次の①～④の中から一
つ選び、番号で答えなさい。

- ① 大宝律令以前、飛鳥浄御原令が天智天皇により施行された。
② 大宝律令の編纂は、不比等のほか刑部親王らが中心となって進められた。

③ 大宝律令は唐の律令を手本にしたが、令は日本の実情に合うように改変された所も多かった。

④ 養老律令は718（養老2）年に成立したとされるが、757（天平宝字元）年になってから施行された。

6 空欄（ C ）に入る最も適切な年を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 724 ② 729 ③ 734 ④ 739

7 空欄（ D ）の人物は764（天平宝字8）年に乱をおこして滅ぼされた。空欄（ D ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 藤原仲麻呂 ② 藤原広嗣 ③ 藤原仲成 ④ 藤原種継

8 下線部 d の人物は自身の病の際に看病を行った僧を重用し、法王の地位を与え、また、皇位をゆずろうとした。その僧の名として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 道慈 ② 玄昉 ③ 行基 ④ 道鏡

9 空欄（ E ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 検非違使 ② 勘解由使 ③ 蔵人頭 ④ 執事

10 空欄（ F ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 藤原時平 ② 藤原緒嗣 ③ 藤原忠平 ④ 藤原基経

11 下線部 e の事件で、勅書を起草した人物は責任を問われた。その人物として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 橘広相 ② 菅原道真 ③ 清原夏野 ④ 三善清行

12 下線部 f に関連する説明として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 関白の職務は、天皇と太政官との文書等のやりとりすべてに関与し、天皇の政務を補佐するというものであった。

- ② 安和の変以後、摂政・関白はほぼ常置されるようになり、天皇の幼少期には摂政が、成人してからは関白がおかれることが慣例となった。
- ③ 宇多天皇や村上天皇の時代には摂政・関白をおかずに天皇親政を行った時期が長く、のちに「延喜・天曆の治」とたたえられた。
- ④ 摂政の職務は、天皇の政務を代行することであった。

13 下線部 g のような政争に巻き込まれ敗れた人物は、配流されたり左遷されたりすることが多かった。そうした人物としてあてはまらないものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 菅原道真 ② 紀貫之 ③ 源高明 ④ 伴善男

14 下線部 h に関する説明として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 道長は、娘の藤原定子を一条天皇の中宮に立て、その皇子の即位により、天皇の外祖父として長く摂政・関白をつとめた。
- ② 当時、浄土教が流行し、道長は宇治の平等院に阿弥陀堂（鳳凰堂）を建立した。
- ③ 平安時代の貴族たちは日記を記したが、道長の日記として『御堂関白記』、頼通の日記として『小右記』が残されている。
- ④ 道長や頼通は藤原氏の氏長者となり、氏寺の興福寺や氏社の春日神社などを管理した。

15 摂関政治の時代には、後宮に仕える女房をはじめ、女性の手による文学作品も多く生み出された。それにあてはまらないものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 土佐日記 ② 源氏物語 ③ 枕草子 ④ 蜻蛉日記

問題Ⅱ

次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。なお、*の付いた語句には、文末に注があります。

[史料Ⅰ]

定（ A ）の事、^{きんせん}京銭、^{うちひらめ}打平等を限る。
*1 *2

右、^a唐銭に於ては、善悪をいとはず、^{しょうか}少瑕を求めず^{ことごと}悉く以って諸人相互い
に取り用ふべし。次に悪銭売買の事同じく^{ちようじ}停止の上は、彼といひ、これといひ、
若し違犯の^{ともがら}輩有らば、其の身を死罪に行ひ、私宅に至りては^{けつふう}結封せらるべきの
^{よし}由、^{げち}仰せ下さる所也。よって下知くだんの如し。
*4

永正貳年十月十日
*5

散位 三善朝臣

豊前守 平朝臣

（『蜷川家文書』）

[注]

- * 1 京銭…南京銭。明から輸入された粗悪銭。
- * 2 打平…小さい銭を打って平たくのばした悪銭。
- * 3 少瑕…少しのきず。
- * 4 結封…家屋を封印して没収する。
- * 5 永正貳年…1505年。

[史料Ⅱ]

一、^b朝倉が館の外、国内^(に)□城郭を構えさせまじく候。忽別^{そうべつ}分限^{ぶんげん}あらん者、（ B ）
へ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事。
*

（「朝倉孝景条々」）

* 分限あらん者…領地を多くもつ有力な家臣。

[史料Ⅲ]

一、駿遠兩國の輩、^{すんえん} ^{ともがら} ^{あるいは} ^(嫁) ^(婿) 或^{*} わたくしとして他国よりよめを取、或ハむこに取、^(娘) ^{ちようじ} ^{おわん} むすめをつかハす事、自今以後之を停止し畢ぬ。

(C)

* わたくしとして…領主の許可を得ないで勝手に。

[史料Ⅳ]

一、喧嘩の事、是非に^{およ} ^{せいばい} 輩^{およ} ば^{せい} ず^{ばい} 成敗を加うべし。但し取り懸ると雖も堪忍せしむるの輩に於いては、罪科に処すべからず。然れども、^{かか} ^{いへど} ^{かんじん} 鼯^{ひいき} 肩^{へん} 偏^ぱ 頗^{*} を以て合力せしむる族は、理非を論ぜず同科たるべし。……

(「甲州法度之次第」)

* 鼯肩偏頗…自分の好きな者や関係のある者だけに力添えをし、公平でないこと。

[史料Ⅴ]

一、ひやくしやう、^(百 姓) ^(地 頭) ^(年 貢) ^(所 当) ちとうのねんくしよたう相つとめす、^(他 領) ^(罷) たりやうへまか^(去) りさる事、^(盗) ^(罪 科) ^{*} ぬす人のさいくハたるへし。……

(D)

* ねんくしよたう…年貢その他の負担。

16 史料Ⅰは室町幕府が貨幣政策として発した法令である。空欄 (A) に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 棟別銭 ② 撰銭 ③ 段銭 ④ 割符

17 下線部 a の唐銭は、宋・元・明の銭のことである。中世の貨幣についての説明として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 平清盛は中国との貿易により宋銭を得た。
- ② 鎌倉時代、荘園の一部では年貢の銭納が行われるようになり、もっぱら宋銭が利用された。
- ③ 日明貿易では中国から大量の銀銭が日本にもたらされた。
- ④ 室町時代には従来の宋銭とともに、新たに流入した永楽通宝などの明銭が使用された。

18 史料Ⅰの政策が実施された歴史的背景として、最も適切なものを次の

①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 貨幣の需要の増大とともに、良質な私鑄銭が流通するようになった。
- ② 取り引きに当たって悪銭をきらい、良質の銭を選ぶ風潮が強まった。
- ③ 明からの輸入銭には、小さなきずがあったことで全く用いられなくなった。
- ④ 宋と元の銭だけが悪銭・良銭にかかわらず、盛んに用いられた。

19 史料Ⅱ～史料Ⅴは戦国大名が領国を支配する基本法として制定した分

国法（家法）の一部である。その特徴の説明として誤っているものを次の

①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 幕府法・守護法を継承している。
- ② 国人一揆の規約などを吸収した法がみられる。
- ③ 軍事・刑事・民事にわたる法もある。
- ④ 民衆の自由を全面的に容認する法がある。

20 史料Ⅱ下線部bの朝倉氏は主家であった守護の斯波氏をしのいで戦国大名

に成長した。斯波氏は室町幕府の管領にも任じられていたが、斯波氏以外に管領を務めた2氏の組み合わせとして、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 畠山氏と赤松氏 ② 一色氏と細川氏
- ③ 細川氏と山名氏 ④ 畠山氏と細川氏

21 史料Ⅱ空欄（ B ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ

選び、番号で答えなさい。

- ① 岐阜 ② 小田原 ③ 一乗谷 ④ 安土

22 史料Ⅱ空欄（ B ）には、室町幕府最後の将軍となる人物が滞在していたが、それは誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 足利義政 ② 足利義昭 ③ 足利義輝 ④ 足利成氏

23 史料Ⅱの内容の説明として、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 国内に多くの領地を持つ有力な家臣は京都に引っ越ししなければならない。
② 国内には朝倉氏の館よりも大きな城郭を構えてはならない。
③ 国内の郷村には代官を置いてはならない。
④ 国内には朝倉氏の館以外に城郭を構えてはならない。

24 史料Ⅲ空欄（ C ）に入る法令は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 「今川仮名目録」 ② 「六角氏式目」
③ 「結城氏新法度」 ④ 「相良氏（家）法度」

25 史料Ⅲを制定した戦国大名家の当主は、ある戦国大名との戦いによって敗れたが、誰に敗れたか。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 武田信玄（晴信） ② 織田信長
③ 毛利元就 ④ 北条早雲（伊勢宗瑞）

26 史料Ⅲを制定した戦国大名のもとには、南北朝時代から流行した連歌を職業とする連歌師が訪れたことがある。連歌に関連する説明として、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 南北朝時代の二条良基は『新撰菟玖波集』を撰した。
② 『菟玖波集』は勅撰集と同格とみなされなかった。
③ 応仁の頃に宗祇は正風連歌を確立した。
④ 宗祇は『犬筑波集』を編集した。

27 史料Ⅳは、喧嘩両成敗法と呼ばれる法の一つである。喧嘩両成敗法の説明として、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 家臣相互の紛争は自分たちの実力による喧嘩で解決させる。
- ② 家臣相互のすべての紛争の解決は幕府の裁判にゆだねられる。
- ③ 家臣相互のすべての紛争は大名との喧嘩によって解決される。
- ④ 家臣相互のすべての紛争の解決は大名の裁判にゆだねられる。

28 史料Ⅳを制定した戦国大名は、越後国の戦国大名としばしば争った。その戦国大名が任じられていた役職は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 関東管領 ② 執権 ③ 鎌倉公方 ④ 四職

29 史料Ⅳの内容の説明として、誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 喧嘩については、どちらがよいか悪いかにかかわらず、罪科に処す。
- ② 喧嘩を仕掛けられた者が、反撃せずに耐え忍んだとしても処罰する。
- ③ 喧嘩を仕掛けた者に味方した者は、いかなる理由があろうとも処罰する。
- ④ 喧嘩を仕掛けられた者に味方した者は、いかなる理由があろうとも処罰する。

30 史料Ⅴは陸奥国の戦国大名伊達氏が制定した分国法である。戦国時代以前の陸奥国に関わる説明として、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 後三年合戦で陸奥の豪族の安倍氏が源頼義・義家父子に滅ぼされた。
- ② 源頼朝は対立する弟の義経をかくまったという理由で奥州藤原氏を滅ぼした。
- ③ 奥州藤原氏の拠点の平泉には富貴寺大堂が築かれた。
- ④ 津軽の十三湊を根拠地とした安藤（安東）氏は琉球と交易を行っていた。

31 史料Ⅴ空欄（ D ）に入る法令は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 「御成敗式目」 ② 「建武式目」 ③ 「武家諸法度」 ④ 「塵芥集」

32 史料Ⅴ下線部cの地頭は、史料Ⅴでは領主の事を指しているが、もとは鎌倉幕府の職務であった。その当時の地頭の説明として、誤っているものを

次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 御家人の中から任命された。
- ② 当初はおもに平家没官領を中心とする謀叛人の所領におかれた。
- ③ 軍事指揮官として国内の御家人を指揮した。
- ④ 年貢の徴収・納入と土地の管理および治安維持を任務とした。

問題Ⅲ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

江戸時代に入り、幕府が公認する学問となったのは儒学であった。その中でも朱子学が重んじられた。そして（ A ）を祖として京都を中心とする京学が盛んとなった。この学派の中から木下順庵^aが出て、彼は多くの弟子を輩出させた。また、朱子学一派である南学からは山崎闇斎^bが出て、崎門学派を形成した。一方、中江藤樹は（ B ）を学び、知行合一の考えから現実を批判するようになった。

18世紀後半になると、江戸の遊里を描いた洒落本や、社会を風刺した絵入りの読み物である黄表紙が盛んに出版されるようになるが、これらは寛政の改革^cにおいて厳しい取り締まりを受けるようになった。その後、江戸の下層社会の人々の生活をおもしろく描いた滑稽本^dや民衆の心の動きを細やかに描き出した人情本などが人気を博した。また、この頃には俳諧も盛んとなり、京都の（ C ）は絵画的な描写を得意とし、文人画も描いた。そして、和歌の形式で滑稽味を取り入れ、世相を風刺するような狂歌^eも盛んとなった。一方、国学では、（ D ）が伊勢松坂の自宅である鈴の屋で、多くの人を教え、『源氏物語』の注釈本である『源氏物語玉の小櫛』を著した。さらに、蘭学も盛んとなっていったが、1828年にはシーボルト事件^fが起きて、天文方の高橋景保らが処罰された。

将軍家斉の治世末期には天保の飢饉^gが起これ、人々の政治への不満は大きくなり、政情不安となっていた。そして、大坂では、（ E ）年に町奉行所の元

与力である大塩平八郎が天保の飢饉で窮乏した人々の救済を訴えて、武装蜂起した。この事件はわずか半日で鎮圧されたものの、この情報は全国各地に伝わり、各地で反乱が相次いで起こった。

12代将軍家慶の時代になると、幕政を本格的に改革する動きが出てきた。老中（F）は幕府権力の強化のために、改革を断行した。これを天保の改革という。（F）は、風俗の取り締まりを強化するとともに、株仲間が不当に高い価格で取り引きしているとして、株仲間を解散させた。また、江戸へ流入した下層民を地方へ戻す政策も実施された。さらに、（G）年に幕府は支配強化のために江戸や大坂周辺の約50万石を直轄領とする上知令（上地令）を發布したが、その地を領有していた大名や旗本の反発を招いて、（F）は失脚した。

この頃、諸藩も深刻な財政難に陥っていた。藩によっては、すぐれた指導者のもとで改革を断行し、財政難を克服したところもあった。たとえば、薩摩藩では莫大な借金に苦しんでいたが、（H）を中心に改革がおこなわれ、藩財政は改善された。

33 空欄（A）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 林鷲峰 ② 林羅山 ③ 藤原惺窩 ④ 伊藤仁斎

34 下線部aの門人で、正徳期に6代将軍家宣の侍講として活躍したのは誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 新井白石 ② 熊沢蕃山 ③ 伊藤仁斎 ④ 荻生徂徠

35 下線部bが神道を儒教的に解釈して説いたものを何というか。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 吉田神道 ② 吉川神道 ③ 度会神道 ④ 垂加神道

36 空欄（B）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 聖学 ② 古文辞学 ③ 陽明学 ④ 古学

37 下線部cにより洒落本などの代表的な作家が処罰されたが、それは誰か。

最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 式亭三馬 ② 曲亭(滝沢)馬琴 ③ 山東京伝 ④ 為永春水

38 下線部dの種類の作品として最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 『修紫田舎源氏』 ② 『春色梅児誉美(暦)』
③ 『椿説弓張月』 ④ 『浮世風呂』

39 空欄(C)に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 小林一茶 ② 与謝蕪村 ③ 松尾芭蕉 ④ 北村季吟

40 下線部eを得意とし、「四方赤良」や「寝惚先生」といった名前も使って活躍していたのは誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 大田南畝(蜀山人) ② 柄井川柳 ③ 井原西鶴 ④ 良寛

41 空欄(D)に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 荷田春満 ② 賀茂真淵 ③ 平田篤胤 ④ 本居宣長

42 下線部fが長崎に開いた医学を勉強する場を何というか。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 芝蘭堂 ② 懐徳堂 ③ 鳴滝塾 ④ 適々斎塾(適塾)

43 下線部gは近世の三大飢饉の一つとされている。この三大飢饉のうちで、田沼時代に起こった飢饉を何の飢饉というか。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 宝暦の飢饉 ② 天明の飢饉 ③ 寛永の飢饉 ④ 享保の飢饉

44 空欄(E)に入る最も適切な年を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 1835 ② 1837 ③ 1838 ④ 1840

45 空欄(F)に入る最も適切な人名を、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 松平信綱 ② 松平信明 ③ 水野忠邦 ④ 松平定信

46 下線部 h について正式に公認し、そこから運上金などを徴収する政策を始めたのは誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 田沼意次 ② 松平定信 ③ 柳沢吉保 ④ 徳川吉宗

47 下線部 i の政策を何と言うか。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 人返しの法（人返し令） ② 旧里帰農令
③ 棄捐令 ④ 村請制

48 空欄（ G ）に入る最も適切な年を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 1837 ② 1839 ③ 1841 ④ 1843

49 下線部 j について、どのように財政難を克服したのか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 藩債約 140 万両を 35 カ年賦とし、藍や菜種を専売とした。
② 藩債 500 万両を 250 年賦として、奄美三島の黒砂糖を専売とした。
③ 藩債の返済を 10 年間商人に猶予させ、藩内で有望な商品であった、い草・茶・タバコなどの専売を行った。
④ 藩債を負担していた富農や富商に大きな権限を与え、その替わり藩債を返済せず、さらに琉球に対して重税を課した。

50 空欄（ H ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 調所広郷 ② 村田清風 ③ 島津久光 ④ 島津斉彬

